

# 第349号

2018年  
4月25日

月1回25日発行

# げんぱつ

原発住民運動情報

発行所 原発問題住民運動全国連絡センター  
発行人 中村敏夫/1部300円 年間3,000円  
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-11-13  
MMビルII 402  
TEL 03-5215-0577 FAX 03-5215-0578  
郵便振替 00150-7-355202  
http://genpatu.com/index.html  
メール=genpatu-jumin-c@nifty.ne.jp

## それはない！ 東電の日本原電支援

### 賠償と廃炉を優先するのが筋

日本原子力発電が再稼働を  
目指す東海第二原発（BWR、  
110万kw。茨城県東海村）  
について、東京電力と東北電  
力が安全対策に必要な資金を  
支援する意向を表明した。

小早川智明・東電社長は衆  
院予算委員会で「低廉で安定  
的に二酸化炭素（の排出）が  
少ない電力を供給する」ため  
だと答弁した。

しかし、東電は福島第一原  
発事故の当事者である。他社  
の経営支援をすることが許さ  
れるのか、他社の原発再稼働  
支援をすることが許されるの  
か、の重大問題がある。

東電にとって優先すべきこ  
とは原発事故による被災者・  
被災地対策と事故収束対策に  
真摯に取り組むことである。  
東電は国の資金支援で破綻を  
免れ、原発事故による損害賠  
償と廃炉作業に取り組んでい  
る。他社の経営支援をすると

か、他社の原発再稼働支援を  
する立場にはないはずである。  
賠償と廃炉を優先するのが筋  
である。

原電は電力大手九社とJパ  
ワーからの基本収入と債務保  
証で原発経営を維持している。  
原電の原発四基は一基も稼働  
していない。東海と敦賀1号  
機（福井県敦賀市）は廃炉作  
業中。敦賀2号機は重要施設  
直下に活断層があり、稼働の  
見込みはない。加えて昨年十  
一月、原電は四原発廃炉のた  
めの解体引当金（計千八百億  
円）を、敦賀3、4号機の新  
設に流用し、手元に五百三十  
億円しか残っていないことが  
明らかになった。原発依存経  
営の無残な姿である。

東海第二原発は原子力規制  
委員会による新規性基準の適

- 浪江一万五千人申し立て交渉を打ち切り（二面）
- 「原発依存」卒業が日本の未来を拓く（三面）
- 「核兵器なき世界」に日本異論（五面）

「全国交流集会 in 新潟」  
○ 日時 十一月十日、十一日  
○ 場所 柏崎市「産業文化会館」

合性審査を受けている。原電  
は規制委から安全対策に必要な  
資金確保の裏付けを求めら  
れ、二社に支援を要請。必要  
額は千七百四十億円と見込ま  
れ、東電が相当額を支援する  
という。

また、同原発は運転開始か  
ら四十年を迎える今年十一月  
までに再稼働と運転延長の審  
査に合格しないと廃炉になる。

さらに、日本原電は同原発  
の再稼働に当たって、県と東  
海村、周辺五町村と三月二十  
九日、事前同意を得る安全協  
定を結んでおり、合格しても  
地元同意を得られる見通しも  
ない。

これほど不透明な原電の経  
営を、大手電力会社は護送船  
団方式で支え続けるのか。原  
電を原発依存から脱する試金  
石として見直すべきである。

## 警鐘

● 現在、世界で稼  
働している原発は、  
構造的に核分裂生  
成物を大量に環境  
に放出する苛酷事

故（シビアアクシデント）  
の危険を排除できない●こ  
れまで世界は三つの苛酷事  
故を経験した。①加圧水型  
軽水炉（PWR）の米T M  
I 原発事故（一九七九年）  
②黒鉛減速軽水冷却チャン  
ネル炉（RBMK）の旧ソ  
連チェルノブイリ原発事故  
（一九八六年）③沸騰水型  
軽水炉（BWR）の福島第  
一原発事故（二〇一一年）  
である●共通する構造は固  
形核燃料であることだ。核  
分裂反応による核分裂生成  
物が運転すればするほど炉  
心に蓄積される。それが核  
分裂の暴走か、冷却材喪失  
かの炉心損傷事故が起きれ  
ば環境に大量に放出される。  
また、放射性廃棄物の処分  
の見通しもない。未完の技  
術である●「これら原発は  
人類と共存できない」とい  
うことを苛酷事故は教えた。